

統計グラフコンクール審査講評

平成30年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計145点(178名)の作品が応募されました。昨年より84点(97名)多い出展数となり、統計グラフコンクールが多くの学校・多くの子供たちに広がり始めたことが分かります。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方に重点をおいて審査しました。

その結果、特選5点、入選7点、佳作22点、合計34点を入賞作品として決定しました。

第1部 小学校1・2年生の作品

第1部の作品からは、特選1点、入選1点、佳作3点が入賞しました。

「みつけよう夏の虫」では、学級でアンケートをとった結果をグラフにまとめています。調べた項目を、絵グラフ・棒グラフ・帯グラフ・円グラフ等を使って丁寧に表すことができました。色や絵も工夫されていて分かりやすいグラフになっています。

「せかいの人にきいてみたよ」は、関西国際空港で外国から来た人に『どこからきましたか』『にほんのたべものですか』『好きなものはなんですか』等聞き取った項目ごとに、絵グラフ・棒グラフ等表し方をいろいろ工夫してまとめることができました。

「せみのぬげがらしらべ」「マグロ?それとも?」「きゅうしょくっておいしいね」の3点も、現地に行って実際に詳しく調べたり、アンケートを取ったりして集めたデータを表やグラフに工夫して表すことができました。

どの作品も身近なことに興味をもって、データを集める工夫をしていました。

第2部 小学校3・4年生の作品

第2部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作4点の合計7点が入賞しました。

「和歌山市に大雨がふった時 どうしてた?」は、台風や大雨で被害を受ける地域が多い現在、避難するにあたって、避難の用意をしているか、どんな用意をしているかを調べ、円グラフや表に表した作品です。見た人は非常持ち出し袋に何を入れればいいのか、参考になる作品でした。

「愛車の色を大調査」では、子供は自転車、大人は自動車の好みの色を県立

図書館などで実際に見て調査し、帯グラフ・絵グラフ・円グラフに表しています。人気の色が一目でわかったり、インタビューしてその理由を分かりやすくグラフに表したりできました。

「わかやま電鉄 貴志川線」では、貴志川線大好きという気持ちが伝わってきました。駅ごとの乗車人数や好きな電車、貴志川線のよいところなどを聞き取り調査し、その結果を棒グラフ・絵グラフ・折れ線グラフ等に表し、色遣いも考えて見て分かりやすいグラフにしています。

「みんなのテレビ調べてみた」「花が好きな人」「今と昔どんなにちがうかな」「紅白歌がっせん」の4点も、円グラフ・棒グラフ・絵グラフ・帯グラフ等、題材のおもしろさや色使い、コメントなど随所に工夫がみられる作品でした。

第3部 学校5・6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作4点の合計7点が入賞しました。

「和歌山PR大作戦～見て知って 来て来て 和歌山～」では、非常に細かいデータを取り、丁寧にまとめた作品です。おすすめの場所の理由、おすすめの果物の理由を工夫した絵グラフに表しています。イラストもかわいく目が惹かれました。みんながもっと和歌山に来てくれることを願う気持ちが伝わってきました。

「高まる人気と今後の課題 高野山」は、世界遺産になって人気上昇中の高野山について、いろんな角度から調べ、表や帯グラフにまとめ正確に表すことができました。一つ一つの表やグラフにコメントをつけたり、高野山の今後について自分の意見を書いたりするなど、作者の考えがよく分かる作品です。

「WELCOME TO JAPAN」は、文字通り日本に来てくださった外国の人を快くお迎えする気持ちが伝わってきました。英語で質問したり、一緒に写真を撮ってもらったり、楽しく会話している様子が目に浮かぶ作品です。円グラフ・棒グラフも色を変えよく分かるように工夫していました。聞き取ったことのまとめもしっかり書けていました。

「元号を分析してみると」「果樹王国 和歌山」「年ごとに暑くなっていく夏」「日本果物情報」では、一つのグラフにいくつかのデータを重ね合わせたり、たくさんの情報を表にまとめ一目で分かるようにしたり、いろいろ比較して見ることができました。

第4部 中学生の作品

第4部の作品から、特選1点、入選2点、佳作9点、合計12点が入賞しました。

「高齢者ドライバーの現状と高齢者にやさしい社会づくり」では、高齢者ドライバーの事故のニュースがよく聞かれる現在、一目見てテーマ性を感じました。円グラフや棒グラフも正確に表され、変化や違いがよく分かりました。高齢者を大切にしたいという気持ちが感じられました。

「日本は不眠大国!？」は、日本人の特性の一つとも言える睡眠時間について疑問をもちいろんな角度から調べ、円グラフや棒グラフに表しています。目の付け所がいいこと、調べた結果についての感想も述べられていること、世界の国々との比較には大変興味が惹かれました。

「知ってる?和歌山のみかん」では、題材はよく見かけますが、イラストを施した円グラフ、棒グラフの「棒」や折れ線グラフの「点」をミカンで表しているところ、農家の推移をマトリョーシカの大きさを表しているところなど、あちらこちらで工夫が見られました。感想もしっかり書けていました。

「熱中症に注意!!」「動物たちに未来を〜絶滅の現状と私たちにできること〜」「サーチャージはどうやって決まるのか」「異常気象〜日本に迫る気象の危機〜」「日本の異常気象のナゾ」「金欠回避」「熱中症に注意!」「私たちが本当にできること」「読書のすすめ」等今年の中学生の部では、現在の社会問題となっていることに焦点を当てるなど、テーマ性がありました。どの作品も円グラフ・棒グラフ・折れ線グラフに工夫が見られました。また、考察も書かれていて、作者の訴えたいことが感じられました。

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部からは、特選1点、佳作2点が入賞しました。

「恐怖 僕達の未来と地球温暖化」は、土や砂、コンクリート、アスファルト等々の気温の違いから地球温暖化の原因を探ろうと、詳しい多くのデータを集めました。パソコンで棒グラフ・円グラフ・表などで配色に気を付け、分かりやすく丁寧に表しました。また、そこから自分の考えやコメントを書き、いろんな発見があったことが分かりました。

「和歌山県内のみかん出荷量」「全国八県のグリーンピースの出荷量の変化」では、みかんもグリーンピースも和歌山県が出荷量全国1位ということに注目し、二つの年度をピックアップし、比較した棒グラフで分かりやすく表されていました。これらの作品には作者の和歌山のよさを知ってもらいたい思いが込められているように感じました。

以上、部門ごとに入賞作品を中心に感想を書かせていただきました。多数の応募ありがとうございました。

これからも、身近な問題、社会・経済・環境問題等、問題意識、興味・関心をもったことをより分かりやすく、見ている人に自分の考えや思いを訴えるために、データを集め、グラフに表すことに取り組んでほしいと思います。

次回も多数のご応募を期待しています。